

2009年8月4日 現地講義

## フィールドスクール概要

岡本正明（京都大学東南アジア研究所）

最近、ベネディクト・アンダーソンの自伝にあたる『ヤシガラ碗の外へ』が出版されたことから、アンダーソンの言うフィールド・ワークのあり方を踏まえながら、フィールド・ワークとは何かを説明した。何かが違う、あるべきものがないという素朴な疑問から出発してフィールド・ワークを実施することの必要性、そして、ディシプリンにあまりに縛られないことの必要性について触れ、それから、フィールド・ワークに限らず、好奇心に基づかない研究はおもしろさに欠けること、好奇心を失ってしまえば研究者である必要性もないと述べた。また、フィールドにおいては、人とのつきあい方がきわめて重要であり、円滑な人間関係を作り上げて維持していく上で「笑い」をとることも重要であると述べた。

（記録：岡本正明）